

中部圏 SDGs 広域プラットフォーム 第 1 回 (2021 年度) 通常総会 議案書

日 時：2021 年 6 月 3 0 日 (水) 午後 2 時～2 時 30 分

場 所：名古屋国際センタービル 5 階 第一会議室

(次 第)

1 開会のことば

2 会長 (議長) あいさつ

3 議 事

第 1 号議案

2020 年度 事業報告 (案)	2
2020 年度 決算 (案)	5
2020 年度 監査報告書	10

第 2 号議案

2021 年度 事業計画 (案)	11
2021 年度 予算 (案)	13

第 3 号議案

規約改正 (案)	15
----------------	----

第 4 号議案

会費徴収規程 (案)	16
------------------	----

第 5 号議案

事業における謝金規程 (案)	17
事業における旅費規程 (案)	18

3 報告事項

会員状況	19
------------	----

4 閉会のことば

出席者・団体一覧（オンラインでの参加者も含みます）

【正会員】

役 職	団体名	肩 書	氏 名
会 長	(国連大学認定 RCE) 中部 ESD 拠点	代表	飯吉 厚夫
副会長	国際連合地域開発センター (UNCRD)	所長	遠藤 和重
副会長	ローマクラブ日本	代表	林 良嗣
副会長	一般社団法人中部 SDGs 推進センター	代表理事	戸成 司朗
監 事	(国連大学認定 RCE) 中部 ESD 拠点	事務局長	古澤 礼太

【オブザーバー】

No.	団体名	部署名
1	愛知県	企画調整部 企画課
2	岐阜県	清流の国づくり政策課 SDGs 推進室
3	三重県	戦略企画部 企画課
4	名古屋市	総務局 企画部 企画課
5	豊田市	企画政策部 未来都市推進課
6	豊橋市	企画部 未来創生戦略室
7	尾張旭市	企画部 秘書課 健康都市推進室
8	浜松市	企画調整部 企画課
9	環境省中部地方環境事務所	環境対策課
10	一般社団法人中部経済連合会	防災・環境部
11	一般社団法人 SDGs コミュニティ	代表理事
12	株式会社中日新聞社	広告局広告一部
13		広告局広告二部
14	凸版印刷株式会社	BI 本部
15		BI 本部 XD 部
16		BI 本部 XD 部クリエイティブ T
17		営業本部新事業開発部
18	ESRI ジャパン株式会社	新事業開発グループ
19	大日本コンサルタント株式会社	地域交通計画室
20		営業企画室

第1号議案

2020年度 事業報告（案）

1 会合等の開催

(1) 設立総会

時 期：2020年12月1日（火）午後1時30分～2時30分

会 場：中部大学 リサーチセンター

内 容：設立趣旨（案）、規約（案）、役員選出（案）

(2) 役員会

①第1回役員会（書面会議）

時 期：2021年1月15日（金）～25日（月）

内 容：愛知学院大学との事務局設置に係る覚書（案）、会員（パートナー）の募集について、寄附金の募集開始について、銀行口座の開設について、2月以降の活動について

②第2回役員会（書面会議）

時 期：2021年3月15日（月）～24日（水）

内 容：民間パートナー会員の入会募集について、広域PFへの後援等の申請について、インターンシップの受入れについて、広域PF役員として受けた講演依頼の謝金の扱いについて、政策研究大学院大学からの受託について

2 普及啓発及び情報発信

(1) 団体ホームページの開設準備及び団体メールアドレスの設置

時 期：2021年3月末

開設委託：クラフトクレイ株式会社

内 容：団体ホームページの開設準備及び団体メールアドレスの設置を民間企業に委託し、実施しました。

(2) 各種事業等の情報発信

時 期：随時

内 容：以下の情報を電子メールにて会員へ提供しました。

No.	日付	情報の内容
1	2021年1月12日	国連第2回SDGグッドプラクティスの募集について
2	2021年1月12日	広域PF役員の紹介について
3	2021年1月27日	SDGs AICHI EXPOと関連イベントのご案内
4	2021年2月16日	豊田市国際会議のご案内について
5	2021年2月18日	低炭素水素シンポジウムの参加者募集について
6	2021年3月1日	池上彰特任教授とSDGsについて学ぶシンポジウムご案内

3 研修会、セミナー等の開催及び後援

(1) 中部 ESD 拠点「SDGs フォーラム 2021」(共催事業)

時 期：2021 年 2 月 6 日 (土) 午前 10 時 30 分～午後 5 時

形 式：オンライン

内 容：SDGs の達成に向けて、東海・中部地域（伊勢・三河湾流域圏）の SDGs ネットワークを拡大・発展させることを目的とした SDGs フォーラムを中部 ESD 拠点と共催で実施しました。

参加者：362人

(2) 低炭素水素シンポジウム (後援事業)

時 期：2021 年 3 月 1 日 (月) 午後 1 時 30 分～4 時

形 式：オンライン

内 容：水素の製造・輸送・利用に伴い二酸化炭素の排出が少ない「低炭素水素」の意義や重要性を広く発信するために愛知県が開催するシンポジウムに後援しました。

参加者：240人

(3) 高校生から大人まで 池上先生と学ぶ SDGs の現在(いま) in なごや (後援事業)

時 期：2021 年 3 月 14 日 (日) 午後 1 時～4 時

形 式：会場参加、オンライン

内 容：高校生から大人までの SDGs の入門者、特に高校生や大学生を対象に、SDGs の基本と参加者にとって身近な愛知県内の自治体・企業・団体の SDGs に対する取組の現状を紹介するなごや環境大学及び愛知学院大学主催のシンポジウムに後援しました。

参加者：455人

(4) 第 12 回 EAJ 中部レクチャー (共催事業)

時 期：2021 年 3 月 26 日 (金) 午後 3 時～4 時 30 分

形 式：オンライン

内 容：人の QOL 向上と地球社会負荷削減を両立させるポスト COVID-19 社会の活動について考える機会として、日本工学アカデミー中部支部が主催するレクチャーを共催しました。

参加者：96人

4 調査研究

(1) 新型コロナウイルス感染症大流行下での SDGs 達成推進のための対策検討業務 (受託事業)

時 期：2021 年 2 月 4 日 (木) ～3 月 22 日 (月)

内 容：持続可能な開発と交通及び水に関連した調査を、政策研究大学院大学(GRIPS)からの受託研究事業として実施しました。報告書の作成にあたっては、広域 PF 副会長の遠藤和重 (国際連合地域開発センター (UNCRD) 所長) 及び林良嗣 (ローマクラブ日本代表) がボランティアとして貢献しました。

5 その他

(1) 事務局の設置

時 期：2021年3月1日（水）～

場 所：愛知学院大学 12号館5階510研究室

内 容：広域PF事務局の運営を円滑に行うため、事務局長が在籍する愛知学院大学の研究室を広域PF事務局として借用するため、覚書を交わしました。

(2) 会員の募集

時 期：2020年12月～

内 容：広域PFの会員として協力いただけるパートナー会員のみを募集しました。

2021年3月末時点のパートナー会員は以下のとおりです。

No.	団体名	部署名
1	愛知県	政策企画局企画調整部企画課
2	岐阜県	清流の国推進部清流の国づくり政策課
3	三重県	戦略企画部企画課
4	豊田市	企画政策部未来都市推進課
5	豊橋市	企画部未来創生戦略室
6	岡崎市	総合政策部企画課
7	安城市	企画部企画政策課
8	尾張旭市	企画部秘書課健康都市推進室
9	蒲郡市	企画部企画政策課
10	志摩市	政策推進部SDGs未来都市推進室
11	浜松市	企画調整部企画課
12	環境省中部地方環境事務所	環境対策課
13	国土交通省中部地方整備局	企画部企画課
14	一般社団法人中部経済連合会	防災・環境部
15	一般社団法人SDGsコミュニティ	代表理事
16	名古屋商工会議所	企画調整部インフラ・国際ユニット
17	春日井商工会議所	専務理事
18	SUNSHOW GROUP 三承工業株式会社	戦略企画室

(3) 会員からのSDGsに関する相談事業

時 期：2020年12月～

内 容：会員組織内でのSDGs推進に当たって、事務局又は役員が必要に応じて助言または支援しました。

決 算 報 告 書

(第 1 期)

自 2020年12月 1日

至 2021年 3月31日

中部圏SDG s 広域プラットフォーム

貸借対照表

2021年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	122,581	未払金	250,000
未 収 金	946,000	未払法人税等	222,900
流動資産合計	1,068,581	流動負債合計	472,900
【固定資産】		負債合計	472,900
【無形固定資産】		正味財産の部	
ソフトウェア	196,667	【正味財産】	
無形固定資産合計	196,667	前期繰越正味財産	0
		当期正味財産増減額	792,348
		正味財産合計	792,348
		正味財産合計	792,348
資産合計	1,265,248	資産及び負債合計	1,265,248

財産目録

2021年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
現 金	手持ち現金	0
普通預金	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店 普通0163471	122,581
未収金	政策大学院大学 受託事業	946,000
ソフトウェア	Webサイト構築費	196,667
資産合計		1,265,248
負債の部		
未払金	クラフトクレイ（株）Webサイト構築費	200,000
未払金	受託事業 外注費	50,000
未払法人税等	法人税、地方法人税、法人県民税・市民税	222,900
負債合計		472,900
正味財産合計		792,348

正味財産増減計算書

自 2020年 12月 1日 至 2021年 3月31日

(単位：円)

経常収益

受託事業収益	946,000	
受取寄付金	140,000	
経常収益合計		1,086,000

経常費用

外注費（事）	50,000	
減価償却費（事）	3,333	
事業費合計		53,333
事務用品費（管）	17,419	
管理費合計		17,419
経常費用合計		70,752
税引前当期正味財産増減額		1,015,248
法人税住民税及び事業税		222,900
当期正味財産増減額		792,348

正味財産増減計算書（部門別）

自 2020年 12月 1日 至 2021年 3月31日

単位：円

	収益事業	本部	合計
経常収益			
受託事業収益	946,000	0	946,000
受取寄付金	0	140,000	140,000
経常収益合計	946,000	140,000	1,086,000
経常費用			
外注費（事）	50,000	0	50,000
減価償却費（事）	3,333	0	3,333
事業費合計	53,333	0	53,333
事務用品費（管）	0	17,419	17,419
管理費合計	0	17,419	17,419
経常費用合計	53,333	17,419	70,752
税引前当期正味財産増減額	892,667	122,581	1,015,248
法人税住民税及び事業税	222,900		222,900
当期正味財産増減額	669,767	122,581	792,348

注 記 表

中部圏SDGs 広域プラットフォーム

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産

自社利用のソフトウェア：利用可能期間（5年）に基づく定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

監査報告書

中部圏 SDGs 広域プラットフォーム

会長 飯吉厚夫 殿

2021年 6月24日

監事

古澤 礼太 

私は、中部圏 SDGs 広域プラットフォームの2020年12月1日から2021年3月31日までの事業及び会計について監査を実施しました。

その結果について、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、役員会の書類を始め、重要な書類の回付を受けるとともに、当プラットフォームの関係者から業務執行の報告を聴取し、必要と認める場合には質問をし、その業務執行・財産及び会計の情報を監査しました。また、当プラットフォームの関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書及び決算報告書（財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）、付属明細書、財産目録及び収支計算書）について監査を実施しました。

2. 監査の結果

(1) 事業監査の結果

当プラットフォームの事業については、法令及び当プラットフォームの規約、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められませんでした。

(2) 会計監査の結果

- ① 決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、かつ当プラットフォームの決算報告書に係る財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。
- ② 事業報告書は、当プラットフォームの事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第2号議案

2021年度 事業計画（案）

1 会合等の開催

(1) 通常総会

時 期：2021年6月30日（水）午後2時～2時30分

会 場：名古屋国際センタービル5階 第一会議室

内 容：事業報告（案）、2020年度 決算（案）、事業計画（案）、2021年度 予算（案）、
規約改正（案）、会費徴収規程（案）他

(2) 役員会

時 期：年間5回程度（開催日時未定）

内 容：広域PFの運営に係る方針決定、入会の承認、共催及び後援事業の決定他

(3) 担当者会合

時 期：年2回程度（開催日時未定）

内 容：会員間の情報共有、中部圏におけるSDGs推進のための意見交換他

2 普及啓発及び情報発信

(1) 団体ホームページの開設・運営

時 期：2021年5月～

運営委託：クラフトクレイ株式会社

内 容：団体概要、会員情報、イベント情報、事業紹介他の内容について、団体ホームページを通じて発信します。

(2) 各種事業等の情報発信

時 期：随時

内 容：以下の情報を電子メール等にて会員へ提供します。

① 国連本部等から発出されるSDGsに関連する情報

② 広域PF及び広域PFの会員が主催または後援する会員が参加可能なSDGsに関連するイベント等の案内

③ その他、広域PFの会員にとって有益と思われる情報

3 研修会、セミナー等の開催及び後援

(1) オープンセミナー（主催事業）

時 期：2021年6月30日（水）午後2時40分～4時

会 場：名古屋国際センタービル5階 第一会議室

形 式：会場参加及びオンライン

対 象：広域PFパートナー会員、広域PFの活動に興味のある団体及び個人

内 容：東海三県における SDGs に関する取組とこれからの SDGs 経営に関する事例発表及びパネルディスカッションを行います。

(2) 国際シンポジウム（主催事業）

時 期：2021 年夏頃（開催時期未定）

形 式：会場参加及びオンライン

対 象：広域 PF パートナー会員、広域 PF の活動に興味のある団体及び個人

内 容：(仮題) 交通と都市の事業評価における QOL の主流化-Wider Economic Impact から GNH、SDGs へ-

(3) 会員向けセミナー（主催事業）

時 期：年 2 回程度（開催日時未定）

形 式：会場参加及びオンライン

対 象：広域 PF パートナー会員

内 容：SDGs に関する世界又は国の動きを捉えたテーマを設定し、会員の SDGs の取組に生かすためのセミナーを開催します。

4 調査研究

(1) 会員アンケートの実施

時 期：2021 年 5 月

内 容：会員の SDGs に関する取組や関心事項及び広域 PF へのニーズについて

(2) 自治体 SDGs 経営モニタリング事業

時 期：通年

内 容：UNCRD が民間企業や自治体と共に研究、開発している自治体の SDGs 推進のためのモニタリングツールに関する手引きを活用し、会員組織内での SDGs 推進に寄与する方法を検討し、会員の SDGs 推進活動を支援します。

5 その他

(1) 会員の募集

時 期：通年

内 容：広域 PF の会員として協力いただける団体を募集します。2021 年度は、昨年度に引き続き、パートナー会員のみを募集します。

(2) 会員からの SDGs に関する相談事業

時 期：通年

内 容：会員組織内での SDGs 推進に当たって、事務局又は役員が必要に応じて助言または支援します。

2021年度 予算 (案)

2021年度 正味財産増減計算予算書(案)

自2021年4月1日至2022年3月31日

科 目	2021年度予算	備 考
【経常収益】		
会費収入	4,000,000	年会費、賛助会費
自主事業収入	250,000	セミナー参加料
受託事業収入	0	
補助金・助成金収入	0	
寄付金収入	155,000	
受取利息	0	
雑収入	0	
経常収益合計	4,405,000	
【経常費用】		
[事業費]		
雑給	500,000	事務局アルバイト代事業対応分
外注費	1,720,000	オンライン配信外部委託料
旅費交通費	210,000	事務局員出張旅費交通費
通信運搬費	5,000	切手・送料
印刷製本費	500,000	団体パンフレット印刷製本代
事務用品費	20,000	ファイル、事務用物品他
消耗品費	99,000	ArcGISライセンス
支払謝金	270,000	セミナー・シンポジウム講師謝金
賃借料	48,300	会場費・会場備品賃借料
支払手数料	121,400	HP管理費用
減価償却費	4,000	Webサイト構築費当期償却額
雑費	714,000	税理士費用、振込手数料その他
事業費計	4,211,700	
[管理費]		
雑給	500,000	事務局アルバイト代
通信運搬費	0	切手・送料
印刷製本費	0	総会議案書等印刷代
事務用品費	0	事務用小物・封筒等購入代
消耗品費	0	消耗小物・物品代
賃借料	16,000	総会会場費・会場備品賃借料
雑費	5,000	振込手数料その他
管理費計	521,000	
経常費用合計	4,732,700	
経常損益	△ 327,700	
経常外収益	0	
経常外費用	0	
税引前当期正味財産増減額	△ 327,700	
法人税、住民税及び事業税	94,000	
当期正味財産増減額	△ 421,700	
前期繰越正味財産額	792,348	
次期繰越正味財産額	370,648	

(単位：円)

2021年度 正味財産増減計算予算書(案) (事業別)

自2021年4月1日至2022年3月31日

	事業費								管理費	合計
	セミナー研修会 開催事業	シンポジウ ム開催事業	アンケート事 業	経営モニタリ ング事業	受託事業	普及啓発事業	共通	小計	団体会計	
【経常収益】										
会費収入	0	0	0	0	0	0	2,000,000	2,000,000	2,000,000	4,000,000
自主事業収入	250,000	0	0	0	0	0	0	250,000	0	250,000
受託事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金・助成金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	155,000	155,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益合計	250,000	0	0	0	0	0	2,000,000	2,250,000	2,155,000	4,405,000
【経常費用】										
[事業費]										
雑給	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000		500,000
外注費	1,220,000	500,000	0	0	0	0	0	1,720,000		1,720,000
旅費交通費	180,000	0	0	0	0	0	30,000	210,000		210,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000		5,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	500,000	0	500,000		500,000
事務用品費	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000		20,000
消耗品費	0	0	0	99,000	0	0	0	99,000		99,000
支払謝金	270,000	0	0	0	0	0	0	270,000		270,000
賃借料	48,300	0	0	0	0	0	0	48,300		48,300
支払手数料		0	0	0	0	121,400	0	121,400		121,400
減価償却費	0	0	0	0	0	0	4,000	4,000		4,000
雑費	0	0	0	0	0	500,000	214,000	714,000		714,000
事業費計	1,718,300	500,000	0	99,000	0	1,121,400	773,000	4,211,700	0	4,211,700
[管理費]										
雑給									500,000	500,000
通信運搬費									0	0
印刷製本費									0	0
事務用品費									0	0
消耗品費									0	0
賃借料									16,000	16,000
雑費									5,000	5,000
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	521,000	521,000
経常費用合計	1,718,300	500,000	0	99,000	0	1,121,400	773,000	4,211,700	521,000	4,732,700
経常損益	△ 1,468,300	△ 500,000	0	△ 99,000	0	△ 1,121,400	1,227,000	△ 1,961,700	1,634,000	△ 327,700

(単位：円)

中部圏SDGs広域プラットフォーム規約改正（案）

中部圏SDGs広域プラットフォーム規約の一部を次のように改正いたします。

新旧対照表

改正案	現行	備考欄
<p>(名 称)</p> <p>第1条 本会は、「中部圏SDGs広域プラットフォーム」(以下、「プラットフォーム」という。)と称し、<u>英文では、Chubu Japan SDGs Platform (CJSP)と表示する。</u></p> <p>(略)</p> <p>(会 員)</p> <p>第8条 本会は、本会の目的に賛同し、<u>SDGs達成に向けた具体的な取組を実施する</u>以下の会員をもって組織する。</p> <p>(1) 正会員 <u>本会の活動を企画、運営する団体及び個人であり、総会で議決権を有する</u></p> <p>(2) 賛助会員 <u>事業本会の活動を賛助する団体及び個人</u></p> <p>(3) 特別会員 <u>公共又はそれに準ずる団体及び個人であり、会長が特別に入会を認める</u></p> <p>(削除)</p> <p>(略)</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、2020年12月1日から施行する。</p> <p>2 本会の設立当初の役員の任期は、第4条第5項に関わらず、設立の日から2022年3月31日までとする。</p> <p>3 第12条の会計年度について、2020年度は本会の設立をもって始まるものとする。</p> <p><u>2 2021年6月30日 一部改正</u></p>	<p>(名 称)</p> <p>第1条 本会は、「中部圏SDGs広域プラットフォーム」(以下、「プラットフォーム」という。)と称する。</p> <p>(略)</p> <p>(会 員)</p> <p>第8条 本会は、本会の目的に賛同し、<u>本規約を順守する</u>以下の会員をもって組織する。</p> <p>(1) 正会員 <u>総会で議決権を有する者</u></p> <p>(2) 利用会員 <u>本会が提供するサービスを利用することができる者</u></p> <p>(3) 賛助会員 <u>本会の目的に賛同し、事業を賛助するために入会した者</u></p> <p>(4) パートナー 本会の活動をサポートする役割が期待される者</p> <p>(略)</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、2020年12月1日から施行する。</p> <p>2 本会の設立当初の役員の任期は、第4条第5項に関わらず、設立の日から2022年3月31日までとする。</p> <p>3 第12条の会計年度について、2020年度は本会の設立をもって始まるものとする。</p>	<p>(変更)</p> <p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(略)</p> <p>(追加)</p>

会費徴収規程(案)

制定2021年6月30日

第1回 通常総会議決

(会費の徴収)

第1条 中部圏SDGs広域プラットフォーム規約第10条による会費については、本規程の定めるところにより徴収する。

(会費)

第2条 会員の会費は別表1の通りとする。ただし、口数は年度毎に変更することができる。

2 口数の変更を行う会員は、変更したい年度の前年度末日までに、会長へ申し出なければならない。

(会費の納入)

第3条 会費は、毎年当該年度分を6月末日までに納入しなければならない。ただし、特別の事情があるときは、会長の承認を得て、納入時期を変更することができる。

2 事業年度開始後6か月を経過して入会が承認された場合は、所定の会費の半額を加入した月の末日迄に納入するものとする。

(会費の免除)

第4条 特別会員は、会費を免除する。

2 激甚な災害による被災など特別な事情が認められる会員については、役員会の承認を得て当該年度会費を減免、若しくは次年度会費の減免を行うことができる。

附則

この規程は、2021年6月30日から適用する。

別表1

会員区分ごとの年会費

会員区分	団体	個人
正会員	1口3万円×口数	1口1万円×口数
賛助会員	1口3万円×口数	1口1万円×口数
特別会員	免除	免除

事業における謝金規程（案）

制 定 2 0 2 1 年 6 月 3 0 日

第 1 回 通常総会議決

（目的）

第 1 条 この規程は、中部圏 SDGs 広域プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という。）が実施する事業における原稿執筆や講演等の対価として支払う謝金の支払いに関して必要な事項を定める。

（支払対象者）

第 2 条 謝金の支払い対象者は、プラットフォームが主催する講演会・研修等において講演や講義を行う講師等に対する講演謝金、助言等を行う協力者に対する助言謝金及び一般的な日本語原稿を執筆する執筆者で、原則として本人に直接支払うものとする。

（謝金の額）

第 3 条 謝金額は、別表 1 に定める額とする。ただし、特別な事情が認められる場合には、役員会の決議を経て変更することができる。

（所得税の源泉徴収及び納税）

第 4 条 謝金の支払いに関しては、法令の規定に従い、所得税及び復興所得税の源泉徴収及び納税を行うものとする。

（費用）

第 5 条 交通費及び宿泊費を要した場合は、旅費規程を準用して支払う。

2 本規程の対象となる支払対象者が、プラットフォームが依頼した業務に関連して前項以外に負担した費用については請求を受けたのち、遅滞なく支払う。

（規程の改廃）

第 6 条 この規程の改廃は、役員会の決議を経て行う。

附則

この規程は、2021年6月30日から適用する。

別表 1

区 分	謝金（※1、※2）
原稿執筆者	50,000円
基調講演講師	20,000円
パネリスト	10,000円

※1：記載額（手取額）に源泉所得税及び復興所得税を上乗せした金額が、支払額となる。

※2：謝金には、消費税を含むものとする。

事業における旅費規程（案）

制 定 2 0 2 1 年 6 月 3 0 日
第 1 回 通常総会議決

（目的）

第 1 条 この規程は、中部圏 SDGs 広域プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という。）が実施する事業における旅費について定める。

（支払対象者）

第 2 条 旅費の支払い対象者は、プラットフォームが主催する講演会・研修等において講演や講義を行う講師等で、原則として本人に直接支払うものとする。

（旅費の額）

第 3 条 旅費は、別表 1 に定める額とする。

2 交通機関は、最も合理的な手段、経路によるものとする。

3 旅費は、支払い対象者の立て替え払いとし、講演や講義終了後速やかに精算するものとする。

（規程の改廃）

第 4 条 この規程の改廃は、役員会の決議を経て行う。

附則

この規程は、2021年6月30日から適用する。

別表 1

区 分	旅費交通費	宿泊費
原稿執筆者	実費相当額	15,000円
パネリスト	実費相当額	15,000円

会員状況

2021年6月30日現在

【正会員】

役 職	団体名	肩 書	氏 名
会 長	(国連大学認定 RCE) 中部 ESD 拠点	代表	飯吉 厚夫
副会長	国際連合地域開発センター (UNCRD)	所長	遠藤 和重
副会長	ローマクラブ日本	代表	林 良嗣
副会長	一般社団法人中部 SDGs 推進センター	代表理事	戸成 司朗
監 事	(国連大学認定 RCE) 中部 ESD 拠点	事務局長	古澤 礼太

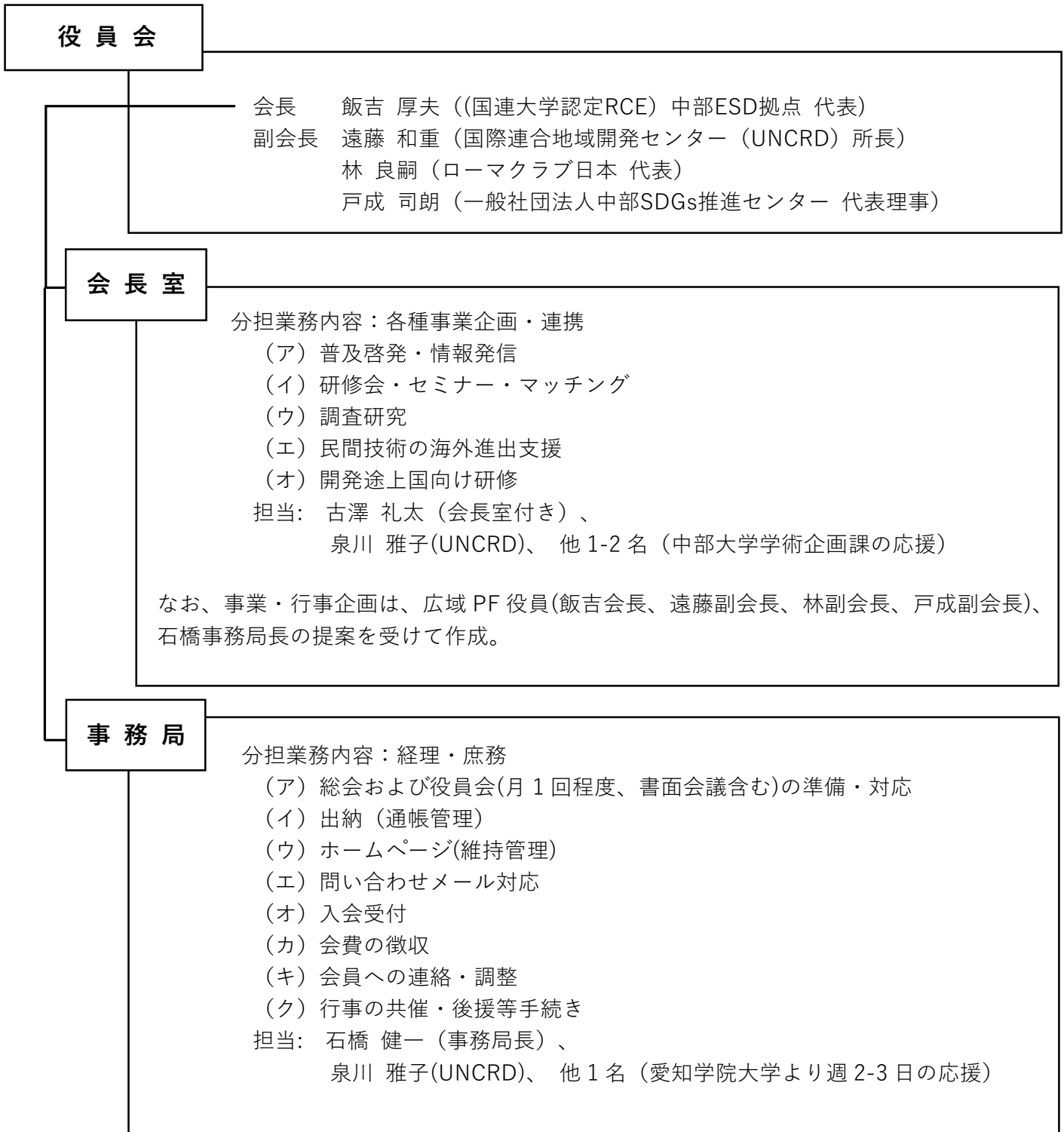
【パートナー会員】

No.	団体名
1	愛知県
2	岐阜県
3	三重県
4	豊田市
5	豊橋市
6	岡崎市
7	安城市
8	尾張旭市
9	蒲郡市
10	志摩市
11	浜松市
12	環境省中部地方環境事務所
13	国土交通省中部地方整備局
14	一般社団法人中部経済連合会
15	一般社団法人 SDGs コミュニティ
16	名古屋商工会議所
17	春日井商工会議所
18	SUNSHOW GROUP 三承工業株式会社
19	大日本コンサルタント株式会社
20	ESRI ジャパン株式会社

【事務局】

役 職	氏 名
事務局長	石橋 健一

中部圏 SDGs 広域プラットフォーム 組織図



備考： 会長室および事務局は、中部圏 SDGs 広域プラットフォーム内部の組織であり、大学等には属するものではない。